

【2】回答書 N05 要求水準仕様書 68 頁 第 5 章 第 15 (1)の詳細仕様について

ウ 救助統計システム

(ア) 指令台事案情報取込

救助事案業務で事案情報取り込みを行うことにより、自動出動指定装置等に蓄積されている救助事案情報を救助事案画面へ表示できること。事案情報の取り込みは、事案終了時だけでなく事案進行中の任意タイミングにおいても事案情報の取り込みが行えること。

(イ) 台帳作成、報告書印刷

指令された絞り込み条件に基づいて救助事案台帳に登録された救助情報の一覧表示を行い、登録・修正する救助情報を選択することで、選択した台帳へ遷移し、オンライン報告に必要な項目及び隊別の活動情報等の入力できること。台帳の入力状態（入力中・入力完了・入力承認）により背景色を変えること。オンラインシステムで取り扱えない文字は、自動的にチェックし、他文字に置換えすることができること。台帳入力完了時には消防庁オンラインシステムと同等のエラーチェックができること。エラーチェックはチェック項目ごとに警告表示又はエラー表示の選択設定ができること。入力したデータは、Excel で作成した報告書に反映させて印刷ができること。報告書の追加変更はシステム管理者のみ行えるように制限をかけること。

(ウ) 国表集計

救助業務実施状況調の様式に沿った国表を出力できること。
国表集計対象となったデータ数値の内訳が表示できること。

(エ) 各種印刷

- a 救助台帳一覧表
- b 救助台帳概要一覧表
- c 救助活動状況
- d 月別事故種別出動件数
- e 月別事故別種活動件数
- f 覚知別月別出動件数
- g 覚知別月別活動件数
- h 地区別事故種別出動件数
- i 地区別事故種別活動件数

(オ) 突合機能

国表を出力する前に突合チェックを行い、県へ提出する前に消防内で事前にチェックする機能があること。この突合チェックは、消防庁オンラインシステムと同等のチェックとすること。また、消防独自の突合条件を設定することができ、必要に応じて突合チェックができること。

(カ) 簡易帳票印刷

縦・横項目に条件を入力することで、署所毎の活動件数や救助者人員などの帳票を作成する機能があること。

(キ) 独自帳票作成・印刷

Excelにて独自に作成した集計表、報告書、一覧表などに対して、容易な操作で台帳データの関連付けを行え、帳票として印刷できる機能があること。また、帳票を組み合わせた複合表が作成できること。なお、作成された帳票は、クライアント端末上で印刷イメージを確認できるプレビュー機能を併せ持つこと。

(ク) 予備項目

記録したい項目を追加できる機能があること。

(ケ) CSV出力

入力済みデータをExcel及びAccessなどで活用できるデータ変換機能があること。

(コ) 台帳入力状況

台帳入力は、「入力中」、「入力完了」、「入力承認」の各入力状況を管理する機能を有すること。入力承認された台帳情報は、修正入力権限を与えられた操作者以外、台帳情報を修正できないこと。入力承認の権限を与えられた操作者は、入力完了データをまとめて一括承認できること。

(カ) 一時保存

台帳の入力途中であっても、簡便に入力作業が中断でき、中断時点での情報が一時保存できること。また、入力再開時には、入力途中の台帳データが識別できること。

(シ) ガイダンス表示機能

台帳の項目名称にカーソルを合わせることにより、ガイダンス表示が行えること。また、表示内容はメンテナンスでき、システム内で運用マニュアルが構築できること。

エ 水利管理システム

(ア) 台帳作成

水利情報をもとに、水利台帳を作成し、消火栓・防火水槽・井戸・プール・海・その他の情報管理ができること。

(イ) 国表集計

消防防災・震災対策現況調査表の様式に沿った消防水利の国表を出力できること。

(ウ) 各種印刷

- a 消火栓台帳
- b 防火水槽台帳
- c 井戸台帳
- d その他台帳

(エ) 突合機能

消防独自の突合条件を設定することができ、必要に応じて突合チェックができること。

(オ) 簡易帳票印刷

縦・横項目に条件を入力することで、地区毎の消火栓設置数などの帳票を作成する機能があること。

(カ) 独自帳票作成・印刷

Excelにて独自に作成した集計表、報告書、一覧表などに対して、容易な操作で台帳データの関連付けを行え、帳票として印刷できる機能があること。また、帳票を組み合わせた複合表が作成できること。なお、作成された帳票は、クライアント端末上で印刷イメージを確認できるプレビュー機能を併せ持つこと。

(キ) 予備項目

記録したい項目を追加できる機能があること。

(ク) CSV出力

入力済みデータをExcel及びAccessなどで活用できるデータ変換機能があること。

(ケ) ガイダンス表示機能

台帳の項目名称にカーソルを合わせることにより、ガイダンス表示が行えること。また、表示内容はメンテナンスでき、システム内で運用マニュアルが構築できること。